

野村ACI先進医療インパクト投資 Cコース 為替ヘッジあり 予想分配金提示型

運用報告書(全体版)

第68期（決算日2024年7月19日） 第69期（決算日2024年8月19日） 第70期（決算日2024年9月19日）
第71期（決算日2024年10月21日） 第72期（決算日2024年11月19日） 第73期（決算日2024年12月19日）

作成対象期間（2024年6月20日～2024年12月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2018年10月23日から2028年12月19日までです。	
運用方針	野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、世界各国（新興国を含みます。）の先進医療関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。ただし、代替ヘッジによっても為替変動リスクの低減の効果が小さいあるいは得られないと判断した通貨については、為替ヘッジを行わない場合があります。	
主な投資対象	野村ACI先進医療インパクト投資 Cコース 為替ヘッジあり 予想分配金提示型	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	世界各国（新興国を含みます。）の先進医療関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村ACI先進医療インパクト投資 Cコース 為替ヘッジあり 予想分配金提示型	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。なお、決算期末の前営業日の基準価額（1万口当たり。支払済みの分配金累計額は加算しません。）が11,000円以上の場合は、分配対象額の範囲内で、別に定める金額の分配を行なうことを目指します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

0120-753104 〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	期 騰 落 中 率			
	円		円	%	%	%	百万円
44期(2022年7月19日)	8,508		0	6.4	99.2	—	22,708
45期(2022年8月19日)	9,015		0	6.0	98.5	—	23,618
46期(2022年9月20日)	8,652		0	△4.0	98.4	—	22,259
47期(2022年10月19日)	8,545		0	△1.2	98.1	—	21,693
48期(2022年11月21日)	8,972		0	5.0	95.5	—	22,446
49期(2022年12月19日)	8,879		0	△1.0	94.1	—	21,919
50期(2023年1月19日)	8,758		0	△1.4	95.6	—	21,424
51期(2023年2月20日)	8,689		0	△0.8	97.9	—	20,588
52期(2023年3月20日)	8,239		0	△5.2	96.9	—	19,278
53期(2023年4月19日)	8,727		0	5.9	99.0	—	20,083
54期(2023年5月19日)	8,634		0	△1.1	98.9	—	19,284
55期(2023年6月19日)	8,773		0	1.6	99.2	—	19,018
56期(2023年7月19日)	8,764		0	△0.1	96.2	—	18,335
57期(2023年8月21日)	8,345		0	△4.8	97.5	—	16,705
58期(2023年9月19日)	8,250		0	△1.1	99.0	—	15,967
59期(2023年10月19日)	7,913		0	△4.1	98.8	—	14,491
60期(2023年11月20日)	7,883		0	△0.4	97.7	—	13,555
61期(2023年12月19日)	8,384		0	6.4	95.1	—	13,557
62期(2024年1月19日)	8,551		0	2.0	99.3	—	13,371
63期(2024年2月19日)	8,841		0	3.4	98.0	—	13,349
64期(2024年3月19日)	8,706		0	△1.5	97.5	—	12,470
65期(2024年4月19日)	8,147		0	△6.4	100.5	—	11,058
66期(2024年5月20日)	8,581		0	5.3	98.7	—	11,226
67期(2024年6月19日)	8,530		0	△0.6	98.8	—	10,506
68期(2024年7月19日)	8,758		0	2.7	96.7	—	10,160
69期(2024年8月19日)	9,047		0	3.3	98.1	—	10,154
70期(2024年9月19日)	9,159		0	1.2	98.2	—	10,035
71期(2024年10月21日)	9,026		0	△1.5	97.7	—	9,663
72期(2024年11月19日)	8,379		0	△7.2	98.6	—	8,749
73期(2024年12月19日)	8,179		0	△2.4	98.7	—	8,166

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

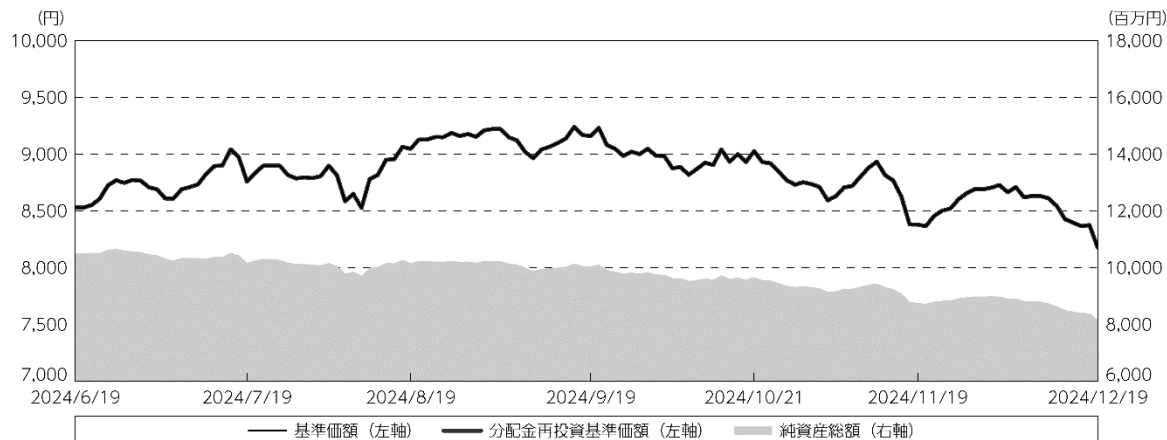
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
			騰 落 率		
第68期	(期 首) 2024年 6 月19日	円 8,530	% —	% 98.8	% —
	6 月末	8,772	2.8	99.2	—
	(期 末) 2024年 7 月19日	8,758	2.7	96.7	—
第69期	(期 首) 2024年 7 月19日	8,758	—	96.7	—
	7 月末	8,789	0.4	95.0	—
	(期 末) 2024年 8 月19日	9,047	3.3	98.1	—
第70期	(期 首) 2024年 8 月19日	9,047	—	98.1	—
	8 月末	9,209	1.8	98.5	—
	(期 末) 2024年 9 月19日	9,159	1.2	98.2	—
第71期	(期 首) 2024年 9 月19日	9,159	—	98.2	—
	9 月末	9,000	△1.7	97.5	—
	(期 末) 2024年10月21日	9,026	△1.5	97.7	—
第72期	(期 首) 2024年10月21日	9,026	—	97.7	—
	10月末	8,710	△3.5	98.5	—
	(期 末) 2024年11月19日	8,379	△7.2	98.6	—
第73期	(期 首) 2024年11月19日	8,379	—	98.6	—
	11月末	8,690	3.7	96.0	—
	(期 末) 2024年12月19日	8,179	△2.4	98.7	—

*騰落率は期首比です。
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第68期首：8,530円

第73期末：8,179円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 4.1%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2024年6月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首8,530円から当作成期末8,179円となりました。

- (上昇) FRB(米連邦準備制度理事会)のパウエル議長がインフレ率の鈍化が継続するとの見通しを示し、景気が緩やかに減速することへの期待が高まったこと
- (上昇) 7月の米小売売上高が市場予想を上回ったことで景気悪化懸念が和らいだこと
- (下落) 8月のISM製造業景況指数が景気判断の節目となる50を5カ月連続で下回ったことや、8月の非農業部門雇用者数が市場予想を下回ったことなどから、米国の景気減速懸念が強まったこと
- (上昇) トランプ前大統領の再選により規制緩和によるM&A(企業の合併・買収)の活発化や減税の恒久化などへの期待感が高まったこと

○投資環境

ヘルスケア株市場は、FRB（米連邦準備制度理事会）のパウエル議長がインフレ率の鈍化が継続するとの見通しを示し、米国景気が緩やかに減速することへの期待が高まったこと、7月の米小売売上高が市場予想を上回ったことで景気悪化懸念が和らいだことなどから、当作成期の前半は上昇しました。その後は8月のISM製造業景況指数が景気判断の節目となる50を5ヵ月連続で下回ったことや、8月の非農業部門雇用者数が市場予想を下回ったことなどから米国における景気減速懸念が強まり、下落基調となりました。なお、当作成期間では下落となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

〔野村ACI先進医療インパクト投資 Cコース 為替ヘッジあり 予想分配金提示型〕は、主要投資対象である〔野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れました。

〔野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド〕

・株式組入比率

当作成期を通じておおむね高位を維持しました。

・当作成期中の主な動き

- (1) 世界各国（新興国を含みます。）の先進医療関連企業の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主体に投資を行なうことを基本としました。
- (2) 株式への投資にあたっては、インパクト投資※¹およびESG※²の観点を考慮することを基本とします。
※1 インパクト投資とは、投資を行なう際に経済的なリターンに加え、社会に有益な影響（インパクト）を与えることを意図して行なわれる投資行動です。
※2 ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。
- (3) 組入銘柄の選定にあたっては、企業収益の成長加速度、財務状況や業績、株価割安性等に着目した分析で上位に位置する銘柄に対し、個別銘柄ごとに綿密にインパクト投資およびESGの観点も加えたファンダメンタルズ（基礎的諸条件）分析を行ないます。
- (4) 期中の売買では、米国のバイオテクノロジー会社株などを新規購入したほか、米国の医療保険会社株などを買い増しました。一方で、米国のライフサイエンス機器メーカー株などを全売却したほか、米国の医療機器会社株などの一部売却を行ないました。

〔野村ACI先進医療インパクト投資 Cコース 為替ヘッジあり 予想分配金提示型〕

・株式組入比率

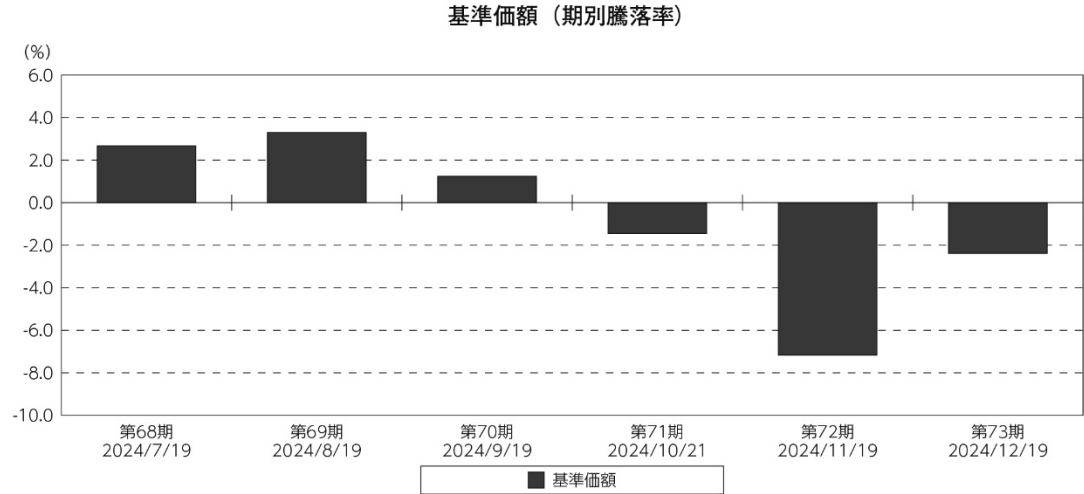
実質株式組入比率は、当作成期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

収益分配金は、経費控除後の利子・配当等収益と売買益等から基準価額水準を勘案して決定いたしました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期	第73期
	2024年 6月20日～ 2024年 7月19日	2024年 7月20日～ 2024年 8月19日	2024年 8月20日～ 2024年 9月19日	2024年 9月20日～ 2024年10月21日	2024年10月22日～ 2024年11月19日	2024年11月20日～ 2024年12月19日
当期分配金	—	—	—	—	—	—
(対基準価額比率)	—%	—%	—%	—%	—%	—%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1, 146	1, 149	1, 156	1, 156	1, 157	1, 158

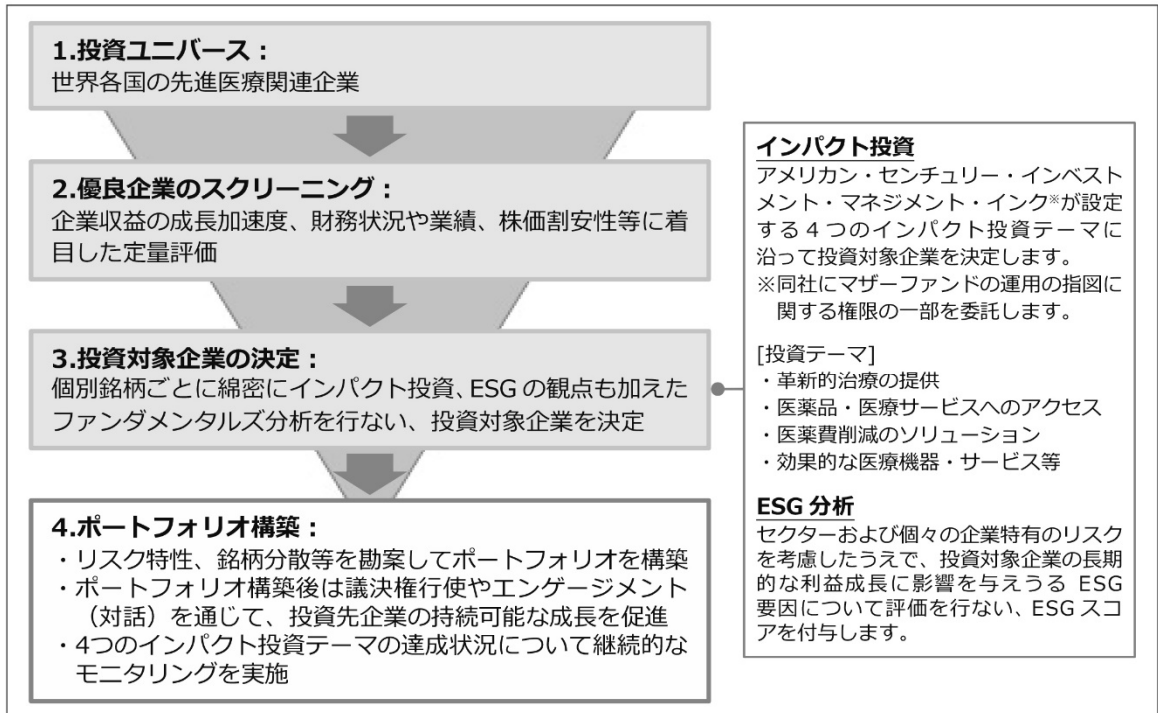
(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎（ご参考）マザーファンドのESG運用について

○運用プロセス図

当ファンドは下記のプロセスに基づいて運用されています。



※上記運用プロセスは、今後変更となる場合があります。

○主要組入銘柄の解説とESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

組み入れ銘柄の紹介・解説は以下の通りです。

☆イーライリリー（米国）

①事業内容

製薬会社。人間と動物を対象とする医薬品の発見・開発・製造・販売を手掛ける。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

同社の製品で特に社会的影響の大きい分野としては、がん、糖尿病、免疫などが挙げられる。世界で初めてインスリンの製剤化に成功するなど、高い研究開発力を強みとしており、幅広い医薬品の製造・販売を手掛けている。革新的な治療薬の開発や医療アクセスの向上への取り組みを通じて、長期的に利益成長できると考えている。

☆ユナイテッドヘルス・グループ（米国）

①事業内容

管理医療会社。管理医療システムを保有、運営する。雇用主に対し、従業員福利厚生プログラムを立案・管理する製品およびリソースを提供する。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

米国最大級の医療保険部門に加え、「オプタム」と呼ばれる医療データ分析部門を有し、より生産性の高いサービスやソフトウェアの提供、医療費の削減に貢献している。様々な医療ニーズに取り組む中で、長期的に利益成長できると考えている。

☆インテュイティブサージカル（米国）

①事業内容

手術設備メーカー。内視鏡、内視鏡開創器具・解剖用器具、はさみ、外科用メス、鉗子、持針器、電気焼灼器、超音波カッター、その他の手術用具を製造する。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

ロボット手術は合併症の軽減や退院後の患者の生活の向上をもたらすとされ、これまでに同社の手術ロボット「ダ・ビンチ」を利用した手術は世界で800万件以上行なわれ、世界60カ国以上で6,000台以上が導入されている。革新的な医療機器の開発や医療アクセスの向上への取り組みを通じて、長期的に利益成長できると考えている。

○当ファンドにおけるサステナブル投資

当ファンドは、先進医療関連株式への投資を通じて、先進医療技術・サービスを通じた人々の健康支援に貢献することを目指します。

当ファンドは、「革新的治療の提供」、「医薬品・医療サービスへのアクセス」、「医療費削減のソリューション」、「効果的な医療機器・サービス等」の4つのテーマのうち1つ以上のテーマに該当する銘柄への投資比率を純資産総額の90%以上に維持することを基本とし、ファンド全体における人々の健康支援への貢献度をモニタリングしています。2024年11月末時点のポートフォリオにおいて、上述のテーマに合致する企業への投資比率は純資産総額の100%でした。また、当ファンドが組入れる先進医療関連企業がもたらした主な社会的インパクトは以下の通りです。

1. 2022年の1年間で、790億米ドル以上の研究開発費を投じました。
2. 380以上の治験薬が臨床試験中であり、うち170以上が後期段階にあります。
3. 2022年の1年間で、1,900以上の臨床試験が実施されました。
4. 2022年の1年間で、米国の小売店で処方箋として約1億1,300万件が取り扱われました。

<インパクトの算出について>

2022年12月時点で当ファンドが投資していたすべての企業を対象としたうえで、上記1～4の項目について各企業がもたらしたインパクトの数値を合計したものを記載しています。

なお、企業のインパクトに関するデータは、年次報告書等各企業が公表している情報や第三者データプロバイダの提供情報、エンゲージメントを通じて運用チームが投資先企業から直接入手した情報などからデータを集計しています。

当ファンドのインパクトは常に保有する株式の組合せに依存します。したがって、このレポートに含まれる情報はインパクトの算出時点のものであり、今後変更される可能性があります。

(出所) アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント・インク

〇スチュワードシップ活動

ファンドでは、エンゲージメントと議決権行使を通じて、投資先企業の企業価値向上に資する、長期的な株式利益を尊重した経営を行なうよう求めます。

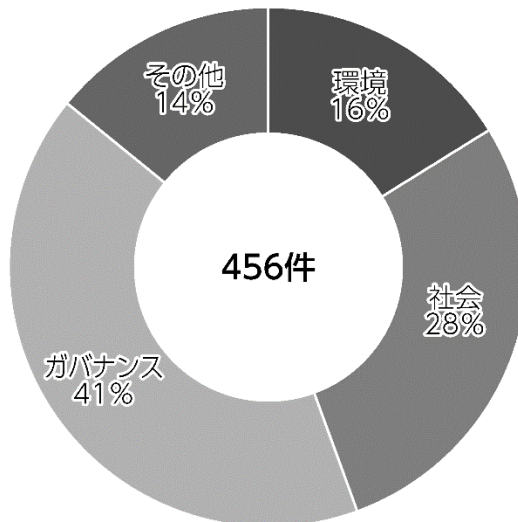
野村アセットマネジメントが議決権行使を担当し、アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント・インクがエンゲージメントを担当します。

野村アセットマネジメントの議決権行使の詳細は、以下のサイト「野村アセットマネジメントの責任投資」にアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/>

アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント・インクは、エンゲージメントにおいて、環境（気候変動、クリーンテクノロジーと再生可能エネルギー、生物多様性）、社会（人的資本、労働慣行とサプライチェーン、製品の品質管理）、ガバナンス（ESGデューデリジェンス、ガバナンス全般、ESG関連の議決権）などをテーマとしており、2023年のエンゲージメントの総件数とテーマ別構成比は以下となっております。

エンゲージメントの総件数とテーマ別の構成割合（2023年）



◎今後の運用方針

〔野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド〕

- ・世界的な高齢化の進展や経済成長に伴い、世界中の人々が自らの健康的な生活の確保と福祉の推進に強い関心を抱いていることから、医療・ヘルスケア関連分野には強い需要が見込まれております。このような医療ニーズに応えるべく同分野ではテクノロジー主導の様々なイノベーション（技術革新）が起きており、当ファンドが投資対象とする先進医療関連企業は継続的な成長が見込めると考えております。
- ・こうした医療・ヘルスケア関連分野ですが、「有効な治療法が確立されていない難病がある」、「世界人口の一定以上は必要な医療サービスを受けられない」、「医療コストが増加し家計を圧迫している」など、多岐にわたる取り組むべき社会的課題を抱えております。当ファンドは「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標達成に寄与すると考える「革新的治療の提供」、「医薬品・医療サービスへのアクセス」、「医療費削減のソリューション」、「効果的な医療機器・サービス等」の4つのインパクト投資テーマを設定し、同投資テーマをもとに、社会的課題の解決に貢献する企業に投資を行ないます。
- ・当ファンドは、企業収益の成長加速度、財務状況や業績、株価割安性等に着目した定量分析で上位に位置する銘柄に対し、インパクト投資およびESGの観点も加えたファンダメンタルズ分析を行ない、組入銘柄の選定を行なうことを基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、リスク特性や銘柄分散等を勘案します。

〔野村ACI先進医療インパクト投資 Cコース 為替ヘッジあり 予想分配金提示型〕

主要投資対象である〔野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 6 月20日～2024年12月19日)

項 目	第68期～第73期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	81	0.910	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(39)	(0.441)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(39)	(0.441)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(2)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(0)	(0.002)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	0	0.005	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	81	0.918	
作成期間の平均基準価額は、8,861円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

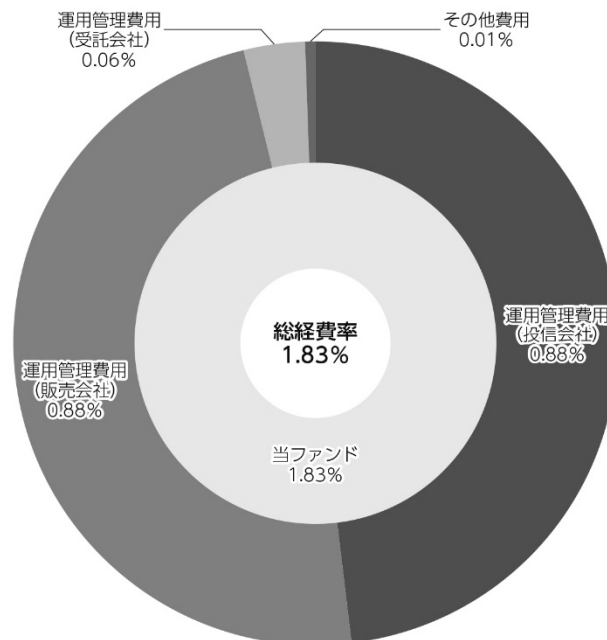
* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.83%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年6月20日～2024年12月19日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第68期～第73期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド	715,784	1,475,300	1,703,934	3,620,390

* 単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2024年6月20日～2024年12月19日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	第68期～第73期
	野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド
(a) 当作成期中の株式売買金額	33,105,177千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	133,602,548千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.24

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年6月20日～2024年12月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年12月19日現在)

親投資信託残高

銘柄	第67期末	第73期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド	4,986,887	3,998,737	8,140,229

* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2024年12月19日現在)

項 目	第73期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド	8,140,229	98.2
コール・ローン等、その他	147,168	1.8
投資信託財産総額	8,287,397	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。
* 野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンドにおいて、第73期末における外貨建純資産（120,192,124千円）の投資信託財産総額（120,837,670千円）に対する比率は99.5%です。
* 外貨建資産は、第73期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=154.94円、1スイスフラン=172.00円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末	第72期末	第73期末
	2024年7月19日現在	2024年8月19日現在	2024年9月19日現在	2024年10月21日現在	2024年11月19日現在	2024年12月19日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	19,785,610,825	20,114,400,694	19,634,010,840	19,556,086,274	17,285,967,395	16,329,993,880
コール・ローン等	69,982,498	275,947,890	90,110,262	491,440,774	371,904,207	90,817,056
野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド(評価額)	9,956,885,241	10,079,355,019	9,959,142,919	9,563,413,830	8,700,383,806	8,140,229,548
未収入金	9,758,742,919	9,759,095,995	9,584,757,073	9,501,228,475	8,213,676,965	8,098,946,686
未収利息	167	1,790	586	3,195	2,417	590
(B) 負債	9,625,083,963	9,960,334,772	9,598,403,305	9,892,680,248	8,536,891,373	8,163,321,841
未払金	9,582,920,947	9,848,693,416	9,569,303,766	9,861,710,287	8,450,846,631	8,100,282,659
未払解約金	26,601,350	96,068,187	13,514,062	15,482,349	72,676,241	49,958,602
未払信託報酬	15,533,433	15,544,916	15,557,202	15,459,512	13,344,250	13,056,849
その他未払費用	28,233	28,253	28,275	28,100	24,251	23,731
(C) 純資産総額(A－B)	10,160,526,862	10,154,065,922	10,035,607,535	9,663,406,026	8,749,076,022	8,166,672,039
元本	11,601,375,662	11,223,606,807	10,956,596,257	10,706,024,700	10,441,501,651	9,985,100,486
次期繰越損益金	△ 1,440,848,800	△ 1,069,540,885	△ 920,988,722	△ 1,042,618,674	△ 1,692,425,629	△ 1,818,428,447
(D) 受益権総口数	11,601,375,662口	11,223,606,807口	10,956,596,257口	10,706,024,700口	10,441,501,651口	9,985,100,486口
1万口当たり基準価額(C／D)	8.758円	9.047円	9.159円	9.026円	8.379円	8.179円

(注) 第68期首元本額は12,317,367,901円、第68～73期中追加設定元本額は1,186,218円、第68～73期中一部解約元本額は2,333,453,633円、1口当たり純資産額は、第68期0.8758円、第69期0.9047円、第70期0.9159円、第71期0.9026円、第72期0.8379円、第73期0.8179円です。
(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額337,205,617円。(野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド)

○損益の状況

項 目	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期	第73期
	2024年 6 月20日～ 2024年 7 月19日	2024年 7 月20日～ 2024年 8 月19日	2024年 8 月20日～ 2024年 9 月19日	2024年 9 月20日～ 2024年10月21日	2024年10月22日～ 2024年11月19日	2024年11月20日～ 2024年12月19日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	10,822	26,504	23,579	53,876	45,345	29,943
受取利息	10,822	26,504	23,579	53,876	45,345	29,943
(B) 有価証券売買損益	279,478,773	339,403,705	138,209,719	△ 127,847,137	△ 662,826,608	△ 187,720,811
売買益	593,507,546	953,484,842	335,493,981	362,495,266	3,966,521	311,229,270
売買損	△ 314,028,773	△ 614,081,137	△ 197,284,262	△ 490,342,403	△ 666,793,129	△ 498,950,081
(C) 信託報酬等	△ 15,561,666	△ 15,599,410	△ 15,627,740	△ 15,487,612	△ 13,408,522	△ 13,119,154
(D) 当期繰越益金 (A + B + C)	263,927,929	323,830,799	122,605,558	△ 143,280,873	△ 676,189,785	△ 200,810,022
(E) 前期繰越損益金	△2,089,306,801	△1,765,229,234	△1,406,582,128	△1,254,024,306	△1,362,154,226	△1,948,416,612
(F) 追加信託差損益金	384,530,072	371,857,550	362,987,848	354,686,505	345,918,382	330,798,187
(配当等相当額)	(842,758,118)	(815,355,006)	(795,966,102)	(777,762,817)	(758,547,359)	(725,391,040)
(売買損益相当額)	(△ 458,228,046)	(△ 443,497,456)	(△ 432,978,254)	(△ 423,076,312)	(△ 412,628,977)	(△ 394,592,853)
(G) 計 (D + E + F)	△1,440,848,800	△1,069,540,885	△ 920,988,722	△1,042,618,674	△1,692,425,629	△1,818,428,447
(H) 収益分配金	0	0	0	0	0	0
次期繰越損益金 (G + H)	△1,440,848,800	△1,069,540,885	△ 920,988,722	△1,042,618,674	△1,692,425,629	△1,818,428,447
追加信託差損益金	384,530,072	371,857,550	362,987,848	354,686,505	345,918,382	330,798,187
(配当等相当額)	(842,758,118)	(815,355,121)	(795,966,152)	(777,762,817)	(758,547,369)	(725,391,040)
(売買損益相当額)	(△ 458,228,046)	(△ 443,497,571)	(△ 432,978,304)	(△ 423,076,312)	(△ 412,628,987)	(△ 394,592,853)
分配準備積立金	486,902,636	474,386,078	470,672,084	460,496,436	449,739,467	430,912,001
繰越損益金	△2,312,281,508	△1,915,784,513	△1,754,648,654	△1,857,801,615	△2,488,083,478	△2,580,138,635

* 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
* 損益の状況の中で (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
* 損益の状況の中で (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2024年 6 月20日～2024年12月19日) は以下の通りです。

項 目	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期	第73期
	2024年 6 月20日～ 2024年 7 月19日	2024年 7 月20日～ 2024年 8 月19日	2024年 8 月20日～ 2024年 9 月19日	2024年 9 月20日～ 2024年10月21日	2024年10月22日～ 2024年11月19日	2024年11月20日～ 2024年12月19日
a. 配当等収益(経費控除後)	6,009,239円	2,813,154円	7,080,154円	0円	0円	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	842,758,118円	815,355,121円	795,966,152円	777,762,817円	758,547,369円	725,391,040円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	480,893,397円	471,572,924円	463,591,930円	460,496,436円	449,739,467円	430,912,001円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,329,660,754円	1,289,741,199円	1,266,638,236円	1,238,259,253円	1,208,286,836円	1,156,303,041円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	1,146円	1,149円	1,156円	1,156円	1,157円	1,158円
g. 分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円
h. 分配金(1万円当たり)	0円	0円	0円	0円	0円	0円

○分配金のお知らせ

	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期	第73期
1 万円当たり分配金（税込み）	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する必要の約款変更を行ないました。
＜変更適用日：2024年7月4日＞

野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド

運用報告書

第7期（決算日2024年12月19日）

作成対象期間（2023年12月20日～2024年12月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界各国（新興国を含みます。）の先進医療関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 株式への投資にあたっては、インパクト投資 ^{※1} およびESG ^{※2} の観点を考慮することを基本とします。 ※1 インパクト投資とは、投資を行なう際に経済的なリターンに加え、社会に有益な影響（インパクト）を与えることを意図して行なわれる投資行動です。 ※2 ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。 組入銘柄の選定にあたっては、企業収益の成長加速度、財務状況や業績、株価割安性等に着目した分析で上位に位置する銘柄に対し、個別銘柄ごとに綿密にインパクト投資およびESGの観点も加えたファンダメンタルズ分析を行ないます。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
主な投資対象	世界各国（新興国を含みます。）の先進医療関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 式 率	株 先 物 比 式 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
3 期(2020年12月21日)	12, 717		15. 6	98. 9	—	178, 520
4 期(2021年12月20日)	15, 870		24. 8	97. 6	—	215, 736
5 期(2022年12月19日)	16, 813		5. 9	97. 2	—	192, 630
6 期(2023年12月19日)	17, 962		6. 8	99. 7	—	149, 280
7 期(2024年12月19日)	20, 357		13. 3	99. 1	—	119, 163

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
* 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 式 率	株 先 物 比 式 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%	%	%
2023年12月19日	17, 962		—	99. 7	—
12月末	18, 266		1. 7	99. 1	—
2024年 1 月末	19, 185		6. 8	99. 0	—
2 月末	20, 343		13. 3	98. 8	—
3 月末	20, 396		13. 6	99. 2	—
4 月末	19, 910		10. 8	99. 4	—
5 月末	20, 299		13. 0	99. 2	—
6 月末	22, 009		22. 5	99. 3	—
7 月末	21, 031		17. 1	98. 9	—
8 月末	21, 061		17. 3	98. 8	—
9 月末	20, 414		13. 7	99. 1	—
10月末	21, 345		18. 8	98. 3	—
11月末	21, 004		16. 9	99. 2	—
(期 末)					
2024年12月19日	20, 357		13. 3	99. 1	—

* 騰落率は期首比です。
* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首17,962円から期末20,357円となりました。

- (上昇) 2024年末にかけての米政策金利引き下げが示唆されたことや医薬品メーカーを中心に買収案件が相次いで発表されたことなどが好感され株価が上昇したこと
- (上昇) 主要企業が発表した2023年10－12月期決算が概ね市場予想を達成するなど堅調な結果となったことが好感され株価が上昇したこと
- (下落) FOMC（米連邦公開市場委員会）メンバーの発言をきっかけに早期の米利下げ期待が後退したことが嫌気されて多くのヘルスケア企業の株価が下落したこと
- (上昇) 2024年4月の米雇用統計の内容を受けて米国における早期利下げへの期待が高まったことなどからヘルスケア企業の株価が上昇したこと
- (上昇) FRB（米連邦準備制度理事会）のパウエル議長がインフレ率の鈍化が継続するとの見通しを示し、景気が緩やかに減速することへの期待が高まったこと
- (上昇) 7月の米小売売上高が市場予想を上回ったことで景気悪化懸念が和らいだこと
- (下落) 8月のISM製造業景況指数が景気判断の節目となる50を5ヵ月連続で下回ったことや、8月の非農業部門雇用者数が市場予想を下回ったことなどから、米国の景気減速懸念が強まったこと
- (上昇) トランプ前大統領の再選により規制緩和によるM&A（企業の合併・買収）の活発化や減税の恒久化などへの期待感が高まったこと

○投資環境

ヘルスケア株市場は、2024年末にかけての米政策金利引き下げが示唆されたことや、好調な業績が期待される肥満症治療薬関連企業をはじめとする主要企業が発表した2023年10－12月期決算が概ね市場予想を達成する堅調な結果となったことなどが好感されて期の前半は上昇しました。期の後半、FRB（米連邦準備制度理事会）のパウエル議長がインフレ率の鈍化が継続するとの見通しを示し、米国景気が緩やかに減速することへの期待が高まったこと、7月の米小売売上高が市場予想を上回ったことで景気悪化懸念が和らいだことなどから上昇しましたが、その後は8月のISM製造業景況指数が景気判断の節目となる50を5ヵ月連続で下回ったことや、8月の非農業部門雇用者数が市場予想を下回ったことなどから米国における景気減速懸念が強まり、下落基調に転じました。なお、当作成期間では上昇となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

当期間は以下のような運用を行ないました。

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- （１）世界各国（新興国を含みます。）の先進医療関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主体に投資を行なうことを基本としました。
- （２）株式への投資にあたっては、インパクト投資※¹およびESG※²の観点を考慮することを基本とします。

※¹ インパクト投資とは、投資を行なう際に経済的なリターンに加え、社会に有益な影響（インパクト）を与えることを意図して行なわれる投資行動です。

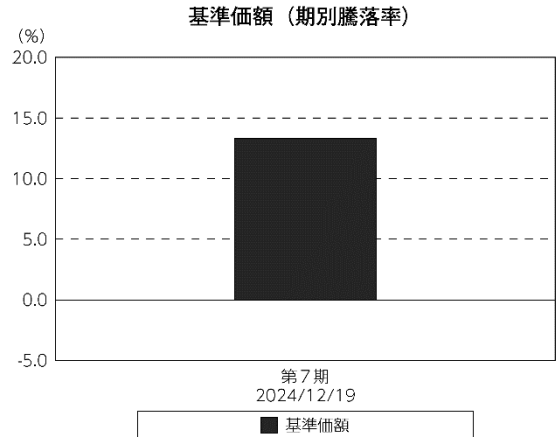
※² ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。

- （３）組入銘柄の選定にあたっては、企業収益の成長加速度、財務状況や業績、株価割安性等に着目した分析で上位に位置する銘柄に対し、個別銘柄ごとに綿密にインパクト投資およびESGの観点も加えたファンダメンタルズ（基礎的諸条件）分析を行ないます。
- （４）期中の売買では、米国の医療保険会社株などを新規購入したほか、米国のバイオテクノロジー会社株などを買い増しました。一方で、米国の総合ヘルスケア会社株などを全売却したほか、米国の医療機器会社株などの一部売却を行ないました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

- ・世界的な高齢化の進展や経済成長に伴い、世界中の人々が自らの健康的な生活の確保と福祉の推進に強い関心を抱いていることから、医療・ヘルスケア関連分野には強い需要が見込まれております。このような医療ニーズに応えるべく同分野ではテクノロジー主導の様々なイノベーション（技術革新）が起きており、当ファンドが投資対象とする先進医療関連企業は継続的な成長が見込めると考えております。
- ・こうした医療・ヘルスケア関連分野ですが、「有効な治療法が確立されていない難病がある」、「世界人口の一定以上は必要な医療サービスを受けられない」、「医療コストが増加し家計を圧迫している」など、多岐にわたる取り組むべき社会的課題を抱えております。当ファンドは「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標達成に寄与すると考える「革新的治療の提供」、「医薬品・医療サービスへのアクセス」、「医療費削減のソリューション」、「効果的な医療機器・サービス等」の4つのインパクト投資テーマを設定し、同投資テーマをもとに、社会的課題の解決に貢献する企業に投資を行ないます。
- ・当ファンドは、企業収益の成長加速度、財務状況や業績、株価割安性等に着目した定量分析で上位に位置する銘柄に対し、インパクト投資およびESGの観点も加えたファンダメンタルズ（基礎的諸条件）分析を行ない、組入銘柄の選定を行なうことを基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、リスク特性や銘柄分散等を勘案します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年12月20日～2024年12月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 2 (2)	% 0.007 (0.007)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.006 (0.005) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	3	0.014	
期中の平均基準価額は、20,438円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年12月20日～2024年12月19日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 6,245 (96)	千米ドル 79,180 (ー)	百株 45,178	千米ドル 400,455
国	スイス	244	千スイスフラン 6,891	453	千スイスフラン 10,726

*金額は受け渡し代金。
*単位未満は切り捨て。
*()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2023年12月20日～2024年12月19日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	76,230,818千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	140,879,120千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.54

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年12月20日～2024年12月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年12月19日現在)

外国株式

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	額	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ABBOTT LABORATORIES	4,803	3,650	40,860	6,330,942	ヘルスケア機器・用品
ADAPTIVE BIOTECHNOLOGIES	7,904	—	—	—	ライフサイエンス・ツール/サービス
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	1,410	1,363	32,443	5,026,830	バイオテク ノロジ ー
ELEVANCE HEALTH INC	—	482	17,662	2,736,687	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
ARCELLX INC	—	287	2,168	335,958	バイオテク ノロジ ー
ARGENX SE-ADR	613	495	30,949	4,795,387	バイオテク ノロジ ー
ARVINAS INC	3,583	2,465	4,587	710,777	医薬品
ASCENDIS PHARMA A/S-ADR	1,304	1,289	17,497	2,711,072	バイオテク ノロジ ー
BIOGEN INC	1,087	330	4,845	750,813	バイオテク ノロジ ー
BIO TECHNE CORP	2,116	2,316	16,540	2,562,727	ライフサイエンス・ツール/サービス
BIONTECH SE-ADR	853	739	8,253	1,278,754	バイオテク ノロジ ー
BLUEPRINT MEDICINES CORP	1,712	1,582	14,525	2,250,519	バイオテク ノロジ ー
BOSTON SCIENTIFIC CORP	5,651	3,892	34,266	5,309,328	ヘルスケア機器・用品
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	6,751	3,628	20,622	3,195,305	医薬品
CVS HEALTH CORP	3,265	—	—	—	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
CEREVEL THERAPEUTICS HOLDING	1,035	—	—	—	バイオテク ノロジ ー
DANAHER CORP	1,980	1,425	32,535	5,041,119	ライフサイエンス・ツール/サービス
DENALI THERAPEUTICS INC	4,558	4,248	9,105	1,410,746	バイオテク ノロジ ー
DEXCOM INC	1,705	1,040	7,829	1,213,153	ヘルスケア機器・用品
DOXIMITY INC-CLASS A	1,729	902	4,712	730,097	ヘルスケア・テク ノロジ ー
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	2,430	532	3,877	600,813	ヘルスケア機器・用品
EVOLANT HEALTH INC-A	2,474	1,140	1,221	189,223	ヘルスケア・テク ノロジ ー
GENMAB A/S -SP ADR	3,452	2,570	5,176	802,034	バイオテク ノロジ ー
GILEAD SCIENCES INC	3,224	2,072	18,793	2,911,894	バイオテク ノロジ ー
GUARDANT HEALTH INC	1,038	1,038	3,359	520,548	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
HEALTH CATALYST INC	6,076	6,076	4,417	684,449	ヘルスケア・テク ノロジ ー

銘		柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
			株 数	株 数	評 価 額		
					外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)			百株	百株	千米ドル	千円	
IDEXX LABORATORIES INC			334	306	12,575	1,948,498	ヘルスケア機器・用品
ILLUMINA INC			656	576	7,733	1,198,212	ライフサイエンス・ツール/サービス
INSULET CORP			464	501	12,860	1,992,600	ヘルスケア機器・用品
INTELLIA THERAPEUTICS INC			2,616	2,869	3,449	534,411	バイオテクノロジー
INTUITIVE SURGICAL INC			1,577	1,042	54,894	8,505,353	ヘルスケア機器・用品
IOVANCE BIOTHERAPEUTICS INC			3,020	1,239	899	139,389	バイオテクノロジー
JOHNSON & JOHNSON			3,276	2,087	30,221	4,682,561	医薬品
ELI LILLY & CO.			1,444	826	63,240	9,798,522	医薬品
METTLER-TOLEDO INTL			—	76	9,274	1,437,018	ライフサイエンス・ツール/サービス
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC			941	315	4,274	662,253	バイオテクノロジー
NOVO-NORDISK A/S-SPONS ADR			2,563	2,197	23,280	3,607,027	医薬品
PENUMBRA INC			654	191	4,581	709,802	ヘルスケア機器・用品
REGENERON PHARMACEUTICALS			720	478	34,158	5,292,570	バイオテクノロジー
SAGE THERAPEUTICS INC			1,355	—	—	—	バイオテクノロジー
SILK ROAD MEDICAL INC			2,208	—	—	—	ヘルスケア機器・用品
STRYKER CORP			1,094	690	24,790	3,841,060	ヘルスケア機器・用品
STRUCTURE THERAPEUTICS INC			—	1,378	3,846	596,048	医薬品
10X GENOMICS INC-CLASS A			1,459	—	—	—	ライフサイエンス・ツール/サービス
UNITEDHEALTH GROUP INC			1,612	1,210	60,514	9,376,053	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A			1,033	754	16,723	2,591,122	ヘルスケア・テクノロジー
VERTEX PHARMACEUTICALS			959	469	20,987	3,251,841	バイオテクノロジー
WATERS CORP			—	26	941	145,811	ライフサイエンス・ツール/サービス
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC			1,035	225	2,386	369,716	ヘルスケア機器・用品
ZOETIS INC			1,387	1,307	21,837	3,383,537	医薬品
小 計		株 数 ・ 金 額	101,179	62,343	749,726	116,162,601	
		銘柄 数 < 比 率 >	45	44	—	<97.5%>	
(スイス)					千スイスフラン		
ROCHE HOLDING (GENUSSCHEINE)			638	430	10,979	1,888,436	医薬品
小 計		株 数 ・ 金 額	638	430	10,979	1,888,436	
		銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.6%>	
合 計		株 数 ・ 金 額	101,818	62,773	—	118,051,038	
		銘柄 数 < 比 率 >	46	45	—	<99.1%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。
* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2024年12月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	118,051,038	97.7
コール・ローン等、その他	2,786,632	2.3
投資信託財産総額	120,837,670	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。
* 当期末における外貨建純資産（120,192,124千円）の投資信託財産総額（120,837,670千円）に対する比率は99.5%です。
* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=154.94円、1スイスフラン=172.00円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年12月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	122,220,628,031
コール・ローン等	2,356,498,973
株式(評価額)	118,051,038,043
未収入金	1,779,404,884
未収配当金	33,681,932
未収利息	4,199
(B) 負債	3,057,077,300
未払金	1,394,277,300
未払解約金	1,662,800,000
(C) 純資産総額(A－B)	119,163,550,731
元本	58,538,163,926
次期繰越損益金	60,625,386,805
(D) 受益権総口数	58,538,163,926口
1万口当たり基準価額(C／D)	20,357円

(注) 期首元本額は83,107,541,350円、期中追加設定元本額は6,471,661,109円、期中一部解約元本額は31,041,038,533円、1口当たり純資産額は2,0357円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

- ・野村ACI先進医療インパクト投資 Bコース 為替ヘッジなし 資産成長型 28,328,669,952円
- ・野村ACI先進医療インパクト投資 Dコース 為替ヘッジなし 予想分配金提示型 18,549,473,581円
- ・野村ACI先進医療インパクト投資 Aコース 為替ヘッジあり 資産成長型 7,661,283,080円
- ・野村ACI先進医療インパクト投資 Cコース 為替ヘッジあり 予想分配金提示型 3,998,737,313円

○損益の状況 (2023年12月20日～2024年12月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,145,385,845
受取配当金	1,048,845,294
受取利息	46,702,632
その他収益金	49,864,349
支払利息	△ 26,430
(B) 有価証券売買損益	18,745,779,867
売買益	32,392,547,890
売買損	△13,646,768,023
(C) 保管費用等	△ 8,395,193
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	19,882,770,519
(E) 前期繰越損益金	66,173,088,862
(F) 追加信託差損益金	6,521,038,891
(G) 解約差損益金	△31,951,511,467
(H) 計(D＋E＋F＋G)	60,625,386,805
次期繰越損益金(H)	60,625,386,805

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する必要の約款変更を行ないました。

＜変更適用日：2024年7月4日＞